

熊市歯発第 82 号
令和 6 年 9 月 17 日

会 員 各 位

熊本市歯科医師会
会長 渡 辺 猛 士
(学術委員会扱い)

令和 6 年度 熊本市歯科医師会第 2 回学術講演会のご案内

「 IOS の基本原則と誰でもできる臨床活用 」

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、福岡市天神でご開業の福岡天神ささだ歯科 院長 笹田雄也先生をお招きし、下記日程にて講演会を行います。

約 40 年前に CAD/CAM による修復技術が発表されました。今年の保険改正で光学印象が組み込まれ、私達一般開業医もこのデジタル化の波に乗り遅れることなく、次々の登場してくる新技術に対応することは必要不可欠だと思います。

今回の講演会では、IOS の基本原則からメリット・デメリットはもちろん、光学印象以外での様々な場面での使用法まで解説いただきます。必ず何かしらのヒントが得られる講演会になると思います。

明日からの臨床に役立つ内容ですので、是非ご聴講ください。

参加の際はFAXにて申し込み後、当日は日歯研修カードをお持ちください。

日 時： 令和 6 年 11 月 16 日(土) 15:00~18:00

場 所： 熊本県歯科医師会館 3階市会議室

講 師： 福岡天神ささだ歯科 院長 笹田 雄也 先生

【抄録】

昨今、今後口腔内スキャナー(以下 IOS)が急速な普及と保健収載に伴い歯科医院デジタル化の主役となることが予想される。しかし、IOS を用いた臨床に関するエビデンスはあまり整理されておらず、『口腔内を直接スキャンすれば、それだけで従来のシリコン印象よりも精確になる』と誤解されているようにも感じる。しかし、実際にはより精確なスキャンを行うためには考慮すべきポイントがいくつも存在する。そこで今回、IOS の基本原則を考察し、それを理解すれば誰でもできる『エビデンスに基づく臨床』を解説してみたいと思う。また、当院では初診から補綴時まで、あるいはメンテナンス時にもトリオスを用いたスキャンを行うことをルーティンとしている。その活用は診療のすべての場面、つまり補綴治療はもちろんのこと、スタディモデルとしての活用や デジタルカウンセリング、DH のデジタル OHI やモチベーションまで多岐にわたる。今回、このような IOS の最大活用を行うための運用方法のポイントについて解説したい。

【講師略歴】

略歴

2004 年 九州大学歯学部卒

2004 年 九州大学附属病院義歯補綴科

2008 年 船越歯科医院勤務

2015 年 テキサス大学サンアントニオ校歯周病科 留学

2021 年 福岡市開業(福岡天神ささだ歯科)

ITI フェロー

元 ITI スカラー

日本歯周病学会認定歯周病専門医

Young ITI Implant school OSAKA 講師

船越歯周病学研修会インストラクター



<FAX申込書> 申し込み締め切り日:令和6年11月11日(月)

熊本市歯科医師会事務局行(学術委員会)FAX:344-9778

歯科医院名 _____

会員氏名 _____

歯科医師()名、スタッフ()名 _____